




令和6年(2024年)9月18日

札幌市議会議長

札幌市議会自由民主党議員会
会長 五十嵐 徳 美 
札幌市議会民主市民連合議員会
会長 林 清 治 
日本維新の会
会長 坂元 みちたか 

海外視察計画書

下記のとおり海外行政視察を計画しましたのでご承認をお願いいたします。

記

1 視察目的

札幌市が抱える市政上の課題に関し、イギリス・ロンドン及びドイツ・フライブルク市の先進的・特徴的な取り組みを視察し、札幌市の施策の参考とするため。

2 視察目的に係る本市の市政上の課題

国はカーボンニュートラルの実現と産業競争力強化・経済成長を共に達成していくため、巨額のGX投資を実行することとしている。なかでも「GX金融・資産運用特区」に選定された本市は、都市と自然が調和した世界でも類を見ない魅力的なまちとして、その魅力と特区を活用し、洋上風力関連産業を含むGX産業のサプライチェーン構築ならびに雇用創出を図るとともに、GXに関する金融機能を札幌に呼び込むことを目指している。

また、本市では2050年ゼロカーボン都市実現に向け、2030年の温室効果ガス総排出量を2016年比で55%削減する目標を掲げているが、家庭と業務部門からの排出量が多く、特性を踏まえた取組を進めていく必要がある。

加えて、ゼロカーボンを含む環境対策は、いまでは大きな国際潮流となっており、「世界に冠たる環境都市」を基本目標に据える本市にとって、個々の環境施策に取り組むだけでなく、それらの取組を国内外に発信することが、国際社会における認知度を高めていくために不可欠である。

そのため、世界に先駆け洋上風力関連産業の振興に取り組み、今では洋上風力市場で世界をリードするイギリス・ロンドン及び、先進的な環境政策に取り組むことで、環境首都として世界的に知られることとなったドイツ・フライブルク市にて、先進的、特徴的な事例を視察する。

3 調査項目及び調査施設（都市）

| 調査項目 | 調査施設（都市）及び選定理由 |
|--|--|
| <p>洋上風力発電所の運用会社やその現場を視察することにより、洋上風力関連産業のサプライチェーンや雇用創出がいかに行われているか、運用にあたっていかなる工夫等がなされているかを調査する。</p> <p>① 運用会社 運用会社を訪問し、英国の洋上風力発電関連産業における部品供給網や、運営に関連する人材の育成についての調査・ヒアリングを行う。</p> <p>② 現地視察 実際に洋上風力発電設備が設置されているエリア等を現地調査する。</p> | <p>(調査都市) ・ロンドン</p> <p>(調査施設) ・ロンドンアレイ洋上風力発電所</p> <p>(選定理由) 英国は全世界に先駆け、温室効果ガス排出量を2050年に少なくとも80%削減する目標を法律として定めている。島国としての地理的優位性もあり、なかでも洋上風力発電への移行は国全体で推進されている。</p> <p>本市が加わる「Team Sapporo-Hokkaido」で取り組むGXプロジェクトには、洋上風力関連産業が含まれ、今後洋上風力関連産業の振興と関連人材育成に取り組んでいく必要がある。</p> <p>全世界に先駆け施策に取り組む英国の大規模洋上風力発電事例を調査することで、札幌市のGX関連施策の参考とする。</p> |
| <p>フライブルク市が「ドイツの環境首都」として世界的に知られることとなった環境施策に加え、環境施策を地域ブランディングに活用しているDMOの取組について調査する。</p> <p>① 現地視察 実際に施策が行われた事例・エリアを現地</p> | <p>(調査都市) フライブルク市</p> <p>(調査施設) ヴォーバン地区のカーポートフリー施策 住民の意見を取り入れた児童公園や道路 パッシブハウス事例 コーポラティブハウス事例</p> |

| | |
|--|---|
| <p>調査する。</p> <p>② 経済・観光・見本市有限合資会社</p> <p>観光プロモーションに限らず、先進的な環境政策の実績を地域ブランディングに活用している事例について、調査・ヒアリングを行う。</p> | <p>経済・観光・見本市有限合資会社（DMO）</p> <p>（選定理由）</p> <p>フライブルク市では、環境問題に取り組むNGOの存在や環境に対する住民意識の高さから、行政と市民が一体となって環境政策が進められている。</p> <p>また、フライブルク市が100%出資する有限会社としてのDMOは、世界的に「ドイツの環境首都」とも知られることとなった先進的な環境政策を地域ブランディングに活用している。</p> <p>フライブルク市の環境施策およびDMO施策について調査することで、札幌市が世界に冠たる環境都市となるための施策、および札幌版DMOを含む札幌観光の推進体制強化施策の参考とする。</p> |
|--|---|

4 視察期間及び行程

令和6年11月10日（日）～令和6年11月15日（金）

| 月日 | 発着地・滞在地 | 交通機関 | 調査施設・都市等 |
|--------|--------------------------------------|------------|--|
| 11月10日 | 新千歳発-羽田着 羽田発（-ロンドン着） | 航空機 航空機 | （移動日） |
| 11月11日 | （羽田発-）ロンドン着 ロンドン市内 （ロンドン泊） | 航空機 バス | ・CLAIRとのブリーフィング ・在英国日本大使館とのGXおよび金融・資産運用特区活用に関する意見交換 |
| 11月12日 | テムズ川河口 ロンドン発-チューリッヒ着 （チューリッヒ泊） | バス 航空機 | ・ロンドンアレイ洋上風力発電所 |
| 11月13日 | チューリッヒ発-フライブルク着 フライブルク市内 | バス バス | ・カーポートフリー施策 ・パッシブハウス視察 ・コーポラティブハウス視察 ・フライブルクDMO視察 |

| | | | |
|--------|---|-----------------|------------|
| | (フライブルク泊) | | |
| 11月14日 | フライブルク市内 フライブルク発-フランクフルト着 フランクフルト発 (-羽田着) | バス バス 航空機 | ・児童公園、道路視察 |
| 11月15日 | (フランクフルト発-) 成田着 羽田発-新千歳着 | 航空機 航空機 | (移動日) |

※ 交通機関、調査施設等については、実施決定後に依頼するため、変更及び前後する可能性がある。

5 参加議員

| 所属会派 | 氏名 |
|----------------|---------|
| (視察団の代表者) | |
| 札幌市議会自由民主党議員会 | 中 川 賢 一 |
| 札幌市議会自由民主党議員会 | 小 竹 ともこ |
| 札幌市議会自由民主党議員会 | 小須田 大 拓 |
| 札幌市議会自由民主党議員会 | 藤 田 稔 人 |
| 札幌市議会自由民主党議員会 | 山 田 一 郎 |
| 札幌市議会自由民主党議員会 | 和 田 勝 也 |
| 札幌市議会民主市民連合議員会 | 中 村 たけし |
| 札幌市議会民主市民連合議員会 | 松 原 淳 二 |
| 札幌市議会民主市民連合議員会 | たけのうち有美 |
| 札幌市議会民主市民連合議員会 | 森 基誉則 |
| 日本維新の会 | 荒 井 勇 雄 |